

# Pichart ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第211号

## ななえ古写真物語

VOL.211

### 無言の強制

戦時下の教育

昭和17年

大沼地区



Nanae Historical  
Museum Collection

今年には戦後80年の節目ということもあり、他の博物館では、関連した展示や調査、催しを行うところが多い。当館では、戦時中の写真や軍服、遺品など多く所蔵しているが、上の写真もその一つである。

小学校の体育館と思われる場所で、戦死された方の葬儀が行われている写真である。参列者は左側に坊主頭の男の子たち、右側には大日本婦人会の襟をかけた女性と正装した男性。そして参列者の前には、中央に10名ほどの僧侶の姿、左前方には軍服姿の人たちが遺影に向かって並んでおり、右前方には、正装した大人に混じって年端もいかない子どもの姿も見られるので、遺族なのだろうか。とにかく盛大という言葉が適当かはわからないが、大がかりな葬儀が執り行われている様子が伺える。

長らく収蔵していたのだが、詳しい来歴や年代、撮影場所の記載がなかったので、画像からいくつかわかりそうな情報を抜き出し、調べてみた。

まず葬儀者の名前を『七飯町史』に記載されている戦争犠牲者名簿と比べ、大沼地区の人だということがわかった。没年月日が昭和17年6月7日であることから、撮影年代はおそらく同年だろうと推測。また、場所についても別の古写真と比較し、窓と扉の形状から、大沼小学校であることがわかった。

昭和17年に行われたであろうこの葬儀は、参集者の人数から推測しても、体育館のような大きな部屋だろう。中央に設けられた供物台には、遺影のほか、餅や団子、リンゴと思われるものが捧げられ、七飯町婦人会や北海道、七飯町を頭にいただく団体名が名を連ねている。出征兵士が戦死するという事は、国をあげて追悼するものだったのだろう。

また、祭壇の右側の壁には神棚が祀られ、その下には、「本気で」と「がまん強く」の木札が掲げられ、判読は出来なかったがそれぞれの札の下には、飾りのある額縁に何やら心構えのようなことが記されている。さらにその右側の壁には、「大東亜要図」と記された中国大陸の地図が貼られている。戦時中の一コマとしてよく見る光景かもしれないが、改めて考えると、学校生活の中に、教育の一環として「戦争」が入り込み、あたかもそれが当たり前の事である。という無言の強制があったように感じ、少し恐ろしくなった。現在の小学校では考えられない状況だが、当時の社会情勢では、普通だったのだろう。

近年、「自由」という権利を、はき違えている人が増えたと感じているが、この写真を見て、「自由」の大切さと教育の危うさを改めて考えることになった。戦後80年経った日本は、何処へ向かっているのだろう。

## 5日 夜の博物館第1夜

環境について考える、前期講座が始まりました。第1夜は「ななえの景観と歴史」。はじめに、町内の地形の特徴である、鳴川や藤城の扇状地について、『七飯町地質図』の付図を用い、解説しました。また、発掘調査からわかることや、流山地形は、江戸後期の絵図には、すでに今の駒ヶ岳の形になっていたこともお話ししました。いま住んでいる人も、そうではない人も、七飯の景観や歴史に、関心を寄せていただけたら幸いです。前期講座は、あと2回行います。多少の空きがございますので、ご興味のある方はお問い合わせくださいませ。



## 28日 ジュニア探検クラブ

捕虫網と三角ケースを手に昆虫を追う子どもたち。この日のジュニア探検クラブは、道南虫の会会員の小松利民氏を講師に招き、町内で昆虫採集を行いました。ミドリシジミやコムラサキ、ミヤマクワガタをはじめ、道南では珍しいコシアキトンボも捕まえることができました。最初は、網の大きさに戸惑っていたようですが、あっという間に慣れたようで、網を持ち待ち構える様子は、なかなかのもの。世界は虫であふれていることに気づいてくれたかな。



## 今年も植物採集を始めています。

昨年度まで、町内の400種を超える植物の採集をし、標本を作る作業を継続しています。今年も、木本（もくほん）の標本を中心に増やしているところです。花の時季を見逃さず、他の業務の間に採集をするのは、難しいのが現状です。写真はオニグルミの雌花とミツバの花。これらの花は、なかなか気づかない花、かもしれません。標本を残すことで、今後、七飯の植生や、環境の変化の指針の一つになれば、と考え増やしています。



### 編集後記 ~tawagoto~

夏本番、涼しい学習サービス室の利用がじわじわ増えている。静かに本を読む人、調べものをする人、勉強？をする人、さまざまにいるが、時折マナーを守れない人の対処に苦慮することが増えた。指定場所以外の飲食や、屋外展示の果実を持っていく人もいる。マナーを守り、気持ちよく利用していただくために私たちは、毎日環境を整えることを大切にしている。「知」を求め、足を運んでくれる方がまた、お越しいただけるために工夫を重ねる毎日だ。

1	金	ロビー展開催中
2	土	
3	日	
4	月	休館日
5	火	
6	水	
7	木	夜の博物館 第3夜
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	山の日
12	火	休館日
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	休館日
19	火	
20	水	ピチャリ発行・ジュニア探検クラブ
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	休館日
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

※休館日：4日、12日、18日、25日

### 芋かご

収穫時に使う持ち籠。手つきが今も色褪せていない。竹製の籠は、見た目も味もおいしい。



Pichari ~ピチャリ~

第211号

令和7年（2025年）7月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp